

## 算数科の目標

分数の加法及び減法についての理解を深め、適切に用いることができるようにするとともに分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。  
 体積の意味について理解し、簡単な立体図形の体積を求めることができるようにするとともに、速さの意味などについて理解し、それらを求めることができるようにする。  
 図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目して、考察し、基本的な立体図形についての理解を深めることができるようにする。  
 比や比例の意味について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにする。

## 第6学年算数科年間計画

月	学習すること	学習のねらい
4	倍数と約数 ・倍数と公倍数 ・約数と公約数	整数を倍数・約数という観点で類別しようとする。 倍数、約数の考えをもとに、考えることができる。 目的や場面に応じて、倍数・公倍数・最小公倍数、約数・公約数・最大公約数を求めることができる。
5	・倍数の見分け方  積や商の見積もり	倍数・公倍数・最小公倍数や約数・公約数・最大公約数の意味と求め方がわかる。 積や商の見積もりのしかたが分かり、見積もりを用いて問題を解決しようとする。 概数にして計算するよさについて考えることができる。 積や商の見積もりのしかたが分かる
6	分数 ・分数の大小 ・分数のたし算とひき算 ・分数と小数のまじった計算	異分母分数の大小比較の方法や、加減の計算の仕方を考えようとする。 異分母分数の大小比較や異分母分数の加法・減法の計算では、分母を同じにすればよいと考えることができる。 同値分数を作ったり、異分母分数の大小比較をしたりすることができる。異分母分数の加減の計算ができる。 約分・通分の意味・異分母分数の大小比較や加減の計算のしかたが分かる
7	いろいろな立体 ・直方体と立方体 ・展開図 ・面や辺の垂直と平行 ・角柱と円柱 ・近道は、どこかな？  体積 ・体積 ・体積の公式 ・大きな体積とかさ ・角柱の体積 ・いろいろな体積	実際に具体物を見ながら、直方体・立方体・角柱・円柱の特徴や性質をとらえようとする。 実際に具体物を見ながら、直方体・立方体の特徴や性質、構成要素の関係や展開図を考えることができる。 直方体・立方体・角柱・円柱の見取り図・展開図をかくことができる。 直方体・立方体・角柱・円柱の定義を知り、直方体・立方体の辺や面の垂直・平行の関係がわかる。 身の回りにあるものの体積に関心をもち、体積の比べ方を考えようとする。
9	復習(1) ・復習をする。 単位量当たりの大きさ ・平均 ・単位量当たりの大きさ ・速さ	既習事項をもとに、直方体や立方体の求積公式を考えることができる。また、複合図形の体積の求め方を考えることができる。 直方体や立方体の求積公式を用いて、体積を求めることができる。また、複合図形の体積を求めることができる。 体積の単位と単位の相互関係、直方体や立方体の体積の求め方、求積公式の意味がわかる。 問題を解くことができる。
10	単位量当たりの大きさをみる環境	日常の事象を考察する時に平均の考えを用いたり、単位量当たりの考えを用いたりしようとする。 日常の事象を数理的にとらえるために、平均の考えを用いることができる。また、異なった条件のものを比較する時に、単位量当たりの考えを用いることができる。 平均や単位量当たりの大きさを求めることができる。また、単位量当たりの考えをもとに、速さを求めることができる。 平均の意味や使い方がわかる。また、異なった条件のものを比較するための単位量当たりの大きさの意味、単位量当たりの考えをもとにした速さの表し方がわかる。
11	分数のかけ算とわり算(1) ・(分数)×(整数)の計算 ・(分数)÷(整数)の計算 ・時間と分数	(分数)×(整数)、(分数)÷(整数)の計算を、既習の整数や小数の計算をもとに考えたり、問題解決に活用しようとする。 (分数)×(整数)、(分数)÷(整数)の計算のしかたを既習の整数や小数の計算をもとに考えることができる。 (分数)×(整数)、(分数)÷(整数)の計算ができる。 (分数)×(整数)、(分数)÷(整数)の計算の意味と計算のしかたが分かる。
11	分数のかけ算とわり算(2) ・(分数)×(分数)の計算 ・(分数)÷(分数)の計算 ・どんな式になるかな	(分数)×(分数)、(分数)÷(分数)の計算を、既習の整数や小数、分数の計算や計算のきまりをもとに考えたり、問題解決に活用したりしようとする。 (分数)×(分数)、(分数)÷(分数)の計算のしかたを、既

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算のきまり</li> <li>・分数のかけ算を作ろう</li> </ul>	<p>習の整数や小数、分数の計算や計算のきまりをもとにして考えることができる。</p> <p>(分数) × (分数)、(分数) ÷ (分数) の計算ができる。</p> <p>(分数) × (分数)、(分数) ÷ (分数) の計算の意味と計算のしかたが分かる。</p> <p>2量の関係の割合を倍を使って表し、問題解決に使おうとする。</p> <p>比べられる量がもとにする量の何倍にあたるかを考えることができる。</p> <p>倍を使って割合を表すことができる。</p> <p>倍を使って、割合を表すこともあることが分かる。</p> <p>身近な図形のおよその面積を、方眼を数えたり既習の基本的な図形と見たりして、工夫して求めようとする。</p> <p>身近な図形について、その概形を既習の基本的な図形と見て考えることができる。</p> <p>身近な図形のおよその面積を、方眼を数えたり、既習の基本的な図形と見たりして、求めることができる。</p> <p>身近な図形も概形をとらえれば、処理できることを理解している。</p>
1 2	<p>倍と割合</p> <p>およその面積</p> <p>比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比</li> <li>・等しい比</li> <li>・比を使って長さを測ろう</li> </ul>	<p>問題を解くことができる。</p> <p>2つの数量の関係を、比を用いて表したり、問題の解決に比を活用したりしようとする。</p> <p>問題場面の中に比をとらえたり、等しい比の性質を活用したりして、問題を解決することができる。</p> <p>2つの数量を、共通な基準を用いてとらえて比で表したり、等しい比を作ることができる。</p> <p>比の意味、等しい比の意味がわかる。</p> <p>自分たちの学校生活の中にある数量や数量関係を見だし、考察したり、表現したりしようとする。</p> <p>単位当たりの量や割合の考えを使って、考察することができる。</p> <p>表から数量を読み取ったり、気づいたことを言葉で表現したりすることができる。</p> <p>自分たちの生活の中には、数値によって考察できる場面が数多く存在することが分かる。</p> <p>既習事項を活用して4領域の問題解決に取り組み、自主的に学習を進めようとする。</p> <p>6年までに身につけた領域別の数学的な考え方や処理のしかたのよさ、有効性をとらえることができる。</p> <p>領域別の基礎的・基本的事項を活用して、問題を解くことができる。</p> <p>数量や図形についての概念や性質、技能などについて理解している。</p> <p>電卓を利用した計算、記号や単位の由来、鶴亀算、三角数や四角数などにふれ、数学的な考えのよさや数学の歴史に関心をもつ。</p> <p>規則性を利用して問題を解決することができる。</p> <p>表やグラフから数量関係や変化を読み取ることができる。</p> <p>数量や図形、数量関係に関する知識・理解を広める。</p>
1	<p>復習(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復習をする。</li> </ul> <p>比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例</li> <li>・比例のグラフ</li> <li>・比例の性質を使って</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の環境を予測する</li> </ul> <p>学校で使うものを調べよう</p>	
	<p>算数のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」</li> <li>・「量と測定」</li> <li>・「図形」</li> <li>・「数量関係」</li> </ul>	
3	<p>算数ワンダーランド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電たく遊び</li> <li>・数学の歴史から</li> <li>・表を使って問題を解く</li> <li>・きまりをさがす</li> <li>・ためしてみよう</li> </ul>	

## 評価

<p>算数科は、「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての表現・処理」「数量や図形についての知識・理解」の4つの観点で評価します。</p> <p>算数への関心・意欲・態度</p> <p>数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで活用しようとしているかどうかという観点で評価します。</p> <p>数学的な考え方</p> <p>算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、論理的に考えたり、発展的、統合的に考えたりしようとしているかどうかという観点で評価します。</p> <p>数量や図形についての表現・処理</p> <p>分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、立体図形の体積を求めたり、立体図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりしようとしているか、そのための技能はどうかという観点で評価します。</p> <p>数量や図形についての知識・理解</p> <p>数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の求め方、基本的な立体図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解しているかどうかという観点で評価します。</p>
--

